

大井まちづくり協議会
おいニュース

平成 30 年 9 月発行 <21 号>

今回は、平成 30 年度活動事業を始め、地域内にある神社の秋祭りの紹介・自主防災組織の取り組み・出前講座の開催などお知らせします。ぜひ読んでくださいね♪

会長あいさつ

大井まちづくり協議会会長 守屋 博正

今年の夏は7月の西日本豪雨に始まり、8月も昨年の猛暑以上で、全国的に熱中症患者も多く発生しました。夜でも殆どの家庭で冷房施設が必要でした。

お互いに体調管理に十分注意されますようお願いいたします。

9月に入り幾分朝夕は過ごしやすく、肌寒く感じる季節になりましたが、地域の皆様にはお変わりありませんか。

大井まちづくり協議会では、6月の総会で選出されました理事さんも加わり、新しいスタッフで各事業の検討や協議を、さらにそれぞれ意見をいただく中で、地域の話題など幅広く取り上げて参りたいと思います。

また、旧JA大井支店にあるまちづくり事務所に(火・水・木曜日午後1時~4時)お気軽に立ち寄っていただき、色々お話をお聞かせいただければ、有難く思います。

引き続き、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げ、私の挨拶といたします。

★活動報告★

● ほたる舞う清流保全事業 (えひめA1-2)

◇目的

下水道整備の見通しもない大井地区にあって少しでも豊かな家庭環境の向上により、生活排水や農業用水の環境保全を、守るため普及促進をはかるもの

◇内容

年4回(3か月に1回)にわたって、イースト菌、ヨーグルト三温糖、納豆などを培養、作成にあたっては利用参加者の手によって作成し、一週間培養後に配分される。

◇効果

地域全体で使うと、川底の汚泥が分解し、メタンガスの発生が収まり、河川の水質も改善され、近年蛍の数が増加の傾向にあります。



● 草刈り支援隊事業

📌 目 的

耕作放棄地や遊休農地の環境保全を地域住民有志（草刈り支援隊員）の誠意ある作業によって、農地を再生するほか、害虫の予防に繋がる。

📌 内 容

自力で農地を管理出来ない高齢化の進む中であって、所有者の要望により登録隊員（30名）が草刈り機をまた市の放棄地協議会から歩行用ハンマーナイフを借り受けて作業を行う。

📌 効 果

農地を自力で管理出来ない高齢者に非常に感謝されている。



草刈り作業風景

❖ まちづくり出前講座開催 ❖

笠岡の文化財について「小平井鍛冶屋遺跡について」など、郷土の文化を探訪し、後世に伝えようと題し、次のとおり開催します。

1. 日 時 平成30年12月9日（日）午前10時から11時30分
2. 場 所 大井公民館集会所
3. 主 催 大井文化探訪の会（代表 東馬場 省吾）
4. 協 賛 大井まちづくり協議会
5. 講 師 笠岡市教育委員会生涯学習課主幹
安東康宏（学芸員）
6. 参加について ご興味のある方はどなたでも参加してください。
また、親子連れでも歓迎します。



❖大井地区秋季大祭のお知らせ❖

☆東大戸天神社秋季大祭☆

毎年10月の第3日曜日10月21日(日)に行われ、前日の20日(土)の宵祭りでは、神社境内において嵯峨山子ども会が主催して歌や父兄達によるユーモラスな演技が披露されます。最後に参拝及び見物者に大黒様からの福の種が振舞われます。

20日(日)には早朝に千歳楽や法被姿の若者たちに安全祈願が行われ、東大戸全地区内を練り歩きます。

また、当番組(平岩地区)により、境内において子ども相撲も行われます。



鳥居



大地神社

☆小平井春日神社秋季大祭☆

小平井春日神社の秋祭りが下記の日程で行われます。

- 10月13日(土) 午後7時より備中神楽
- 10月14日(日) 午前10時より祭典

前夜祭は、当番組の住山地区より屋台の出店があります。多数のお参りをお待ちしています。

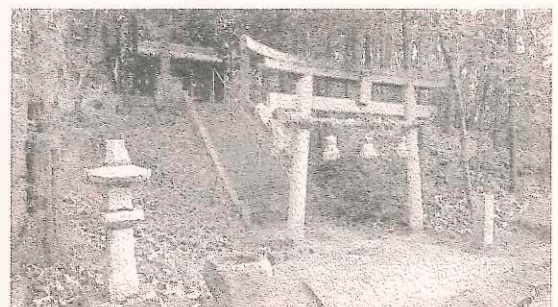


本殿

☆西大戸聖霊神社秋季大祭☆

毎年10月の第2日曜日(今年は10月14日(日))に行われます。この日は、大人による千歳楽の興業が行われ、力強い太鼓や掛け声で地区内を練り歩きます。

また、子ども会では、子ども神輿の興行が行われ地区内に「わっしょい!わっしょい!」と少数精鋭で元気な掛け声と太鼓の音頭を響かせます。



参道

❖大井自主防災からのお知らせ❖

去る9月9日日曜日、今年で8回目となる大井地区自主防災合同研修会を予定しておりましたが、当日の早朝大雨警報が発令され、急きょ研修会が中止となりました。研修会4日前の9月6日午前3時8分には北海道地震が発生し、震源地に最も近いと言われている厚真町では土砂災害により40人近い犠牲者がありました。また、7月の西日本豪雨災害では、百年に一度と言われる大雨で笠岡市でも小田川に近い北川地区では大変な浸水被害があり、倉敷市の真備町では、いまだ避難をされている方もあると聞いています。

一方、東南海・南海地震は発生の確率が年々高くなっている状況の中で、こうした防災研修会は自分自身や家族を守るため必要であり、やむなく中止になりましたので、防災ニュースの紙面を通じてお知らせしたいと思います。

平成7年1月に発生した阪神淡路大震災では、自助・共助によって救出された方が95%、自衛隊・消防など公助ではわずか1、7%と言われ、現在の自主防災組織が出来たところございます。そして何より大切なことは、今までの災害ではこうだったとか、過去の被害はどうだったとか言ったことが通用しなくなりました。笠岡市で出されている地域の危険個所が掲示されている防災マップを頭に入れておく必要もあろうかと思えます。

(地震・洪水ハザードマップなど)

さらに、台風に関しても年々発生回数や規模が大きくなり、今年発生した、20・21・22号などは岡山県を運よく避けて通過しましたが、それぞれに十分な警戒準備が必要だと言われています。

地球温暖化の影響はこれからも想像の付かない災害をもたらすものと、防災専門家は注意を呼び掛けています。今後こうした研修会に参加しましょう。

